報道関係者各位

2026年11月20日

インフォメティス株式会社

AIで電力の見える化に取り組むインフォメティス、家電ごとの電気の使われ方が分かる家庭向け電力マネジメントサービス「うちのデンキ番」を発表

～分電盤にセンサーを1つ付けるだけで、AIが「どの家電を、いつ、どれくらい使ったか」を見える化。
蓄電池とのセットで、節電・停電への備え・家族の見守りを1つのサービスで叶えます。～

エナジーインフォマティクス事業に取り組むインフォメティス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：只野 太郎、以下「インフォメティス」）は、家庭向け電力マネジメントサービス「うちのデンキ番」を発表いたします。

分電盤に取り付ける電力センサーが１日の電気の使用状況を家電ごとに分析。アプリを通していつでもすぐに確認ができるので、効率よく節電対策が行えます。また、余った電気はセットの蓄電池にためておけるので、もしもの際の備えにもなる、暮らしの安心を支えるサービスです。

このサービスが生まれた背景には、暮らしと電気をめぐる意識の変化があります。
電気料金の上昇を受けて家庭での節電への関心が高まる一方、地震や台風・豪雨などによる停電への備えも欠かせないものになっています。さらに、離れて暮らす親の様子が気になるなど、家族の安心をどう守るかも身近な課題です。

インフォメティスはこれまで、電力データから暮らしの変化を読み解く技術を事業者向けに提供してきました。その技術を、ご家庭でお使いいただける形にしたのが「うちのデンキ番」です。

■ うちのデンキ番について

「エネルギーデータの力で、暮らしの未来を変えていく。」をミッションに掲げるインフォメティス。独自の人工知能（AI）をはじめとするIT技術を活用した最先端のNILM（機器分離推定技術）が強みです。

この技術は、それぞれの家電で異なる電流波形の特長を利用して、その波形を機械学習で識別し、エアコンや冷蔵庫、テレビなどの各家電がいつ、どれくらい電力を使ったかという内訳をリアルタイムで推定することを可能にする技術です。

「うちのデンキ番」は、この技術をご家庭で手軽にお使いいただけるよう、電力センサー・アプリ・蓄電池をひとつのセットにしました。

分電盤に取り付けた電力センサーが家全体の電気の流れを計測し、インフォメティス独自のAIが家電ごとの使用状況に分解。その結果を、アプリでいつでもスマホから確認できます。



▲アプリ画面イメージ

また、セットの蓄電池にはふだんから電気をためておけます。Classic・MAXは持ち運べるポータブル電源、AIおまかせは家全体の電気をまかなえる定置型蓄電池で、AIが充電・放電を自動で制御します。



▲セット内容イメージ

■ プランについて

「うちのデンキ番」は、もしもの時に備えたい電気の量や、AIによる自動制御の有無に合わせた、３つのプランで構成されています。いずれも電力センサーとアプリがセットになっています。

- はじめての方や、停電のときにスマホや明かりなど最低限の電気を確保したい方に「Classic」
  うちのデンキ番 Classic：電力センサー＋アプリ「ienowa」＋ポータブル電源（EcoFlow DELTA 3 Classic／1,024Wh）
- 停電が長引いても余裕をもって電気を使いたい方や、ご家族の人数が多いご家庭に「MAX」
  うちのデンキ番 MAX：電力センサー＋アプリ「ienowa」＋ポータブル電源（EcoFlow DELTA 3 Max／2kWh）
- 停電のときに家全体の電気をまかないたい方や、電気代の節約まで自動でまかせたい方に「AIおまかせ」
  うちのデンキ番 AIおまかせ：電力センサー＋アプリ「enenowa」＋定置型蓄電池（5.8kWh・全負荷型）。AIが電気の使われ方に合わせて充電・放電を自動で制御します。

■ 今後について

当社は、電力データ解析技術・AIを活用した家庭向けサービスにより、家庭での電力マネジメントについてもさらに推進してまいります。家電ごとの電力使用状況の見える化と蓄電池の活用により、日々の節電や停電への備えを支援し、安心で快適な暮らしエネルギーの有効活用に貢献してまいります。

■ インフォメティス株式会社について

インフォメティスは「エネルギーデータの力で、暮らしの未来を変えていく。」をミッションに、［エネルギー × AI］をコア技術としたエネルギー最適化ソリューションを提供しています 。

- **所在地**：東京都港区芝大門1-12-16 住友芝大門ビル2号館
- **代表者**：代表取締役社長 只野 太郎
- **上場市場**：東証グロース市場（証券コード281A）
- **URL**：https://www.informetis.com/